

船舶インシデント調査報告書

平成28年10月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	座洲
発生日時	平成28年5月5日 08時10分ごろ
発生場所	三重県伊勢市宇治山田港内勢田川河口付近 宇治山田港大湊防波堤灯台から真方位242° 1,050m付近 (概位 北緯34° 31.5′ 東経136° 44.9′)
インシデントの概要	プレジャーボートDuet Pt. IIは、河口付近を北東進中、砂地に座洲した。
インシデント調査の経過	平成28年5月16日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート Duet Pt. II、1.45トン
船舶番号、船舶所有者等	243-38519三重、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 99cm（宇治山田）
インシデントの経過	本船は、三重県鳥羽市鳥羽港沖で釣りをする目的で勢田川河口付近を北東進中、周囲の様子を見ていて航行域を示す柵等に気付かず、航行域を外れて陸岸に寄って航行し、同河口付近の砂地に座洲した。 本船は、潮が満ちて船体が浮上するのを待ち、自力で伊勢市神社港に帰港した。 本船の喫水は、船首尾共に約0.5mであった。
分析	本船は、勢田川河口付近を北東進中、船長が、航行域を外れて陸岸に寄って航行したことから、同河口付近の砂地に座洲したものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、勢田川河口付近を北東進中、船長が、航行域を外れて陸岸に寄って航行したため、同河口付近の砂地に座洲したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・河口付近は、砂が堆積しやすいので、大潮の低潮時を含めて陸岸から十分に距離を隔てて航行すること。 ・航行予定海域の潮汐、地形等を出航前に調査しておくこと。